昭和30年12月5日 第3種郵便物認可（日曜・祝日の翌日休刊） 社団法人日本地方新聞協会加盟 （日刊）
第18425号

岳陽新聞

1月13日 土曜日
2018年（平成30年）
発行所 岳陽新聞社
〒418-0002 富士宮市中原町7番地
☎（0544）24-9050 FAX（0544）24-9007
購読料1か月630円 1部売り 50円

Esso Express DOUTOR
石油製品／保険／自動車販売／カーリース／車検／カフェ
岡重株式会社
代表取締役社長 岡村 昌樹
本社 富士宮市ひばりが丘700 TEL(0544)27-6111

「市の行政に改善や不満を思ったこと」77・8%が「思ったこと」と回答

市政モニターアンケート

「市議会」をテーマにした調査の結果集計を公表

富士宮市はこのほど、「平成29年度第3回市政モニターアンケート」の集計結果を公表した。第3回では「市議会」をテーマに、「市議会は市民によって選ばれた議員により民意を市政に反映させる機関です。今回は市政モニターの皆様から市議会へのご意見を伺い、今後の議会運営や議会改革の参考にさせていただきます」を趣旨に、昨年11月29日から12月13日までの間に市政モニター50人を対象に実施され49人（98%）から回答を得て、集計・分析した結果を公表した。

問1の「富士宮市の行政に対し、改善して欲しい事や不満に思ったことがありますか」に関しては、「一度でも思ったことがある」が77・8%、「全くない」が22・4%で、「一度でも思ったことがある」と答えた人は、「南北格差」「公園の雑草や道路に飛び出している雑草等整備面。病院の医師不足、公約を掲げていたが、なにも進展が感じられない」「子育て、公園が近くにない」「選挙・教育など」「子育て支援について」「市街化調整区域の扱い」「富士宮駅が古すぎる。寂しい」「IT分野の仕事が少ない。国際化対応があまり進んでいない」「希望の保育園になかなか入れない。改善して欲しい」「夜暗い場所が多い。街灯をもっと増やしてほしい」「議会だよりを読んでいても、ただの質問だけの内容の議員が多すぎて先に進められる問題定義が少ない」「浄化槽の維持費が高い」「大渋滞・事故多発の道路改善を何十年もお願いしているが全く改善されない」「市立病院の運営が貧弱」「土地の有効活用を」「空き屋の問題」「世界遺産センターはうれしい。でも街中商店街が活気がない」「ごみ問題」「自治体の役割」「各種補助金、助成金の交付で適正に使用されているか疑問がある」……など具体的な疑問や要望が並んでいる。これらの疑問や改善要求をどのような行動で示したかについては「どうしたらいいかわからなくて困る」が31・6%、「市役所へ言う（窓口・電話・メールなど）」が21・1%で、「市議会議員へ言う」が13・2%だった。

「平成29年4月に『富士宮市議会基本条例』を制定したこと」について、「詳しく知っている」は6・1%、「名前だけは知っている」が40・8%、「知らない」は51・0%だった。

「政務活動費の公開」については、「知っている」が26・5%、「知らない」が73・5%、「地方議会の役割強化と制度改正についての意見では「いいことだと思う」「地方議員の役割が明確になっていることで、市民がわかりやすく安心できる」「チェック機能が強化されることは良いことだと思う」「時代や変化に合わせた対応で、いいことだと感じます」などの意見の反面、「『市長の追認機関』と揶揄される現状が改善するのであれば好ましい。ただ、条例を制定するだけで議員各位の行動がかわらないのであれば、それは何の意味もないと思う。（市長部局とは人員数の差があり、議員にやれることは質的、量的ともに限られているとは思うが、やれるだけのことはやって欲しい）」「基本的にはいいと思うが、議員の選出が人気投票のようなら気にかかる。バカな人や売国的な人でも、人気があれば議員になれるので」「制度が変わるのは良いと思いますが、抜け道がおきないようにしてほしい。政務活動費など」「役割が強化されることは良いことだと思いますが、それを特権的なものとして行動することは避けてほしい」「議員の本分としての活動を真摯に行ってほしい」「地方活性化が叫ばれている現在、市議会の役割は重要です」……などが見られた。

（『市議会』については詳細後日）

市内地域おこし団体「一般社団法人富士宮市地域力再生総合研究機構（田邊元裕理事長）」は11日、駅前交流センターきららで、市内四蔵（牧野酒造㈱・富士正酒造㈱・富士高砂酒造㈱・富士錦酒造㈱）の本醸造酒『だいびんじょう』各4本発売の記者発表を行なった。

同酒は『やきそばだいびんじょう』『鱒々だいびんじょう』に続く第三弾で、共催の富士宮やきそば学会渡辺英彦会長が命名し、商標権を取得している。

昨年夏、世界遺産センター開館に「大便乗」し、観光客への土産物や地元を盛り上げるものを造ろうと渡辺会長が四蔵に呼びかけ、準備を重ねてきた。

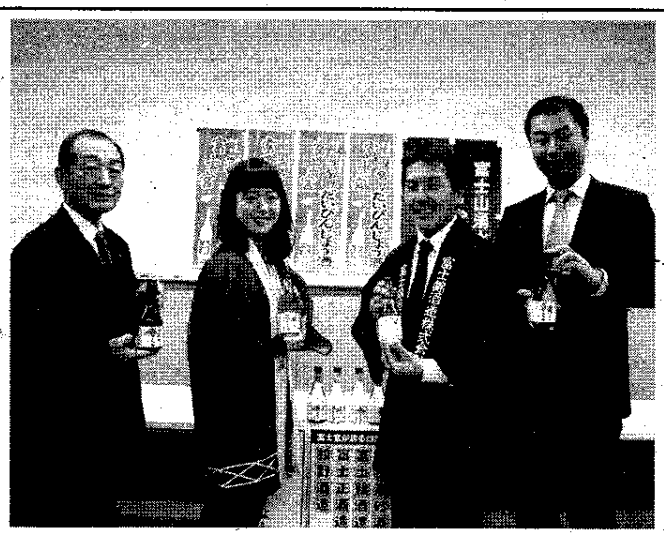
全蔵共通銘柄の同酒（1本300ミリリットル・500円税抜き）は、それぞれの蔵の持ち味を活かし、キレやコク、香りが全く異なる味わいの酒として各蔵で販売を開始している。

ゆくゆくは、2月オープン予定の世界遺産センター南隣の土産物店での販売や4セット販売、静岡空港をはじめ県外での販売も視野に、観光客および飲み比べを楽しむ顧客層に販売したいと考えている。

地域興しから「現場で実際に働く人を作る、究極の人材育成（渡辺会長）」とする富士宮高校会議所への資金源活用と、「飲んで話せばわかる」酒の効果で、地域経済の相乗効果を狙う。

同会議所は先日日本会議所設立を発表、晴れて全国組織になるべく活動を広げている最中であり、1本10円の売上金寄付は、渡辺会長が持つ商品名の商標登録からのもの。

「経済活動ができない高校生が活動するための、資金源つくりへのモデルケースに」との期待を集めている。


世界遺産センターに大便乗！

富士宮経済NEWS

四蔵合同『だいびんじょう』発売決定

売上げ1本10円を高校会議所の資金源に

4点セット売りも今後の視野に

ふじおろし

『西郷どん』

◆今年のNHK大河ドラマは西郷隆盛を主人公にした「西郷どん」で、初回から薩摩弁が話題にもなっています。

西郷の遺訓（『南州翁遺訓』）にある「命もいらず名もいらず、官位も金も要らぬ人は始末に困る者なり。この始末に困る人ならでは、艱難を共にし国家の大業は為し得られぬなり」とする『無私の精神』は、リーダーの極意とも言えます。

司馬遼太郎は『翔ぶが如く』に、「西郷は単なる仁者ではなく、その精神をつねに無私な覇気で緊張させている男であり、その無私ということが、西郷が衆をうごかしうるところの大きな秘密であった。人間は本来無私ではありえず、あり得ぬように作られているが、しかし西郷は無私である以外に人を動かすことができず、人を動かせなければ国家や社会を正常の姿にひきすえることは出来ないと信じている男だった。」と西郷隆盛を論じています。

◆西郷隆盛は、「道を行うこと、聖賢を目指すこと」を生きる理念と考えていました。薩摩藩の武士であった西郷は、藩主島津久光によって、32歳の時に5年間、島流しの流刑を受けています。西郷はその時、佐藤一斎の『言志四録』を持っていって、島流しの間中、繰り返し何度も読んで自らのものにしたと伝わります。「聖賢」の書に生き方を学び、人間学の学びを「聖賢の書」に求めたのでした。

西郷は若き頃に藤田東湖に学びました。西郷は藤田東湖の「小人ほど才芸があって便利なものである。これは用いなければならない。しかしながら長官に据え、重職を授けると必ず邦家を覆す。であるから決して上に立ててはいけないものである」の言葉を自身の政治哲学にしていました。西郷は庄内藩士に「才芸のある人間を長官に据えたりすればかならず国家をくつがえす」と語っています。西郷の西南の役に至る辛酸をなめる歴史には、この言葉の持つ意味が大きくかかわっています。藤田東湖の言葉は現代にも通用します。小人を重職に用いて組織の瓦解を招いた例は少なくありません

◆日本史上最大の内戦ともなった西南戦争（西南の役）に至るまでの経過を克明にたどり、西郷隆盛の人間像に迫った司馬遼太郎の『翔ぶが如く』では、西郷を「ふしぎとしか言いようのない神聖人格というものを持っていた。かれは本気で正義が通るものだと思っていたし、本気で誠実というものは人間もしくは世の中を動かしうるものだと信じていた。西郷は武士の情や武士の理性だけが世の中を救いうると信じている人であり、それが文明開化の世をきずくというあらたな日本の大義名分のために惨落してゆくことを見るに忍びなかった」と綴ってもいます。

作られてしまった虚像「神聖人格」が救世主として祭り上げられ、大久保利通ら政府・太政官らの挑発によって「西郷には反乱の意思が全くなく、開戦を挑発したのは太政官（大久保）の方であった」西南戦争で、西郷は世を去っています。

「武士は私利私欲のためではなく、名誉のために働く」という『誇り』と『無私の精神』に生き「敬天愛人」の生涯を貫いた西郷に理想のリーダーを見ることができます。大河ドラマはではこれからどのように『西郷どん』が描かれていくのでしょうか。

胃腸科・肛門科・放射線科・皮膚科
後藤外科医院
東町東小学校前 TEL㉖5002・㉗2123

外来診療時間

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00 5:00	○	○	○	○	○	○

休診日：日曜・祝祭日です
医療法人社団一秀会 指出泌尿器科
院長 指出一彦 須床洋
渡辺真／遠藤美樹子／長尾慶治
富士宮市朝日町9番5号 ☎0544-24-3511(代)

いちばん、あなたの心を大切にする葬儀社へ
藤原は「いやし」と「やさしさ」でお応えします。
感謝を伝えたい
家族葬「ふれ愛」
会員価格38万円 限定 ご会葬者30名様 ※返礼品、料理、宗教家へのお礼を除く
葬儀仏壇 株式会社藤原
0120-26-3840

アルバイト募集
新聞の配達をお願いします
●2時間位です ●時給1,200円
●要バイク免許
詳しくは 電話26-3285まで
富士宮市小泉1124-1 株式会社 鈴木新聞店

みじかなニュース 岳陽新聞